

黒潮に浮かぶ、神々の集いし島

# 神津島 パワースポットガイド

★スタンプを設置しています

庵屋霊場  
坂東三十三札所

観音浦霊場  
西国三十三札所

阿波命神社

観音堂 ★

★えんま洞

★庵屋堂

物忌奈命神社

★龍神様

★神津島観光協会

延命山濤響寺

多幸湧水

秩父堂 ★

秩父霊場  
秩父三十四札所

神津島観光協会

発行：NPO法人 神津島観光協会  
東京都神津島村 3 7 - 2  
TEL：04992-8-0321  
<http://www.kouzushima.org>



### 阿波命神社（長浜海岸バス停から徒歩2分）

祭神は事代主命の正后である阿波命で名神大として官社に指定されている。延喜5年（905年）醍醐天皇の勅で62年の歳月を経て康保4年（967年）に施行された延喜式の神名帳に物忌奈神と阿波命神は由緒も正しくかつ崇敬の篤い神社として官社に指定された。毎年4月15日に例祭が行われる。

### 物忌奈命神社（観光協会から徒歩5分）

祭神は物忌奈命で三嶋大社の祭神・三嶋明神の長子、神津島の開祖とされる。嘉祥3年（850年）に官社に列せられ、延喜式神名帳には「伊豆国賀茂郡 物忌奈命神社」同じ神津島の阿波命神社とともに名神大社に列している。境内には、神仏習合の名残りで薬師如来を安置する薬王殿がある。毎年8月2日に行われる「カツオ釣り神事」は国の重要無形民俗文化財に指定されている。

### えんま洞（観光協会から徒歩15分）

高さ約3m、奥行き5mの洞窟に地蔵菩薩と優しく微笑みを浮かべる「えんま像」をお祀りしている。無実の罪に泣いた流人が刻んだとか、自らの悪行に恐れた罪人が心の証しとして祀ったものと語られている。

### 龍神様（観光協会から徒歩3分）

この岩礁は以前は陸地から離れていました。一帯を神木（かんき）と呼んで豊漁と漁船の安全を見守る場所で正面に物忌奈命字神社、天上山の不動池を向く神聖なエネルギーを感じる場所となっている。

### 延命山濤響寺 浄土宗（観光協会から徒歩5分）

寛永16年（1639年）に島の神主と地役人を世襲した松江家の宗祖、石田因幡守の勧請で下田の海善寺から休山和尚の派遣を受け現在の小学校近くに開基された。この建築の棟梁は下田の臼井久八で、屋根は宝形作りで堂内の御本尊を祀る正面祭壇は一段高くして内陣を設けられていて珍しいものです。御本尊は「十五夜ばあさん」の伝承にまつわる阿弥陀如来像で脇に並ぶ地蔵菩薩は比叡山の恵心院に住居した天台宗の僧侶恵心僧都の作と伝えられている。

十五夜ばあさんとは十五夜の晩に生まれた前田市郎平の婆さんは普段から信心深い人でした。ある晩夢の中に仏様が現れ多幸の浜に迎えに来てほしいと告げられました。他家に嫁いだ妹と暗く寂しい山道を提灯で照らしながら多幸の浜へ急ぎました。夜が明けて太陽が水平線から現れると浜の渚に三体の如来像が漂着していました。姉妹二人は如来のしずくを着物の袖で払いそのままお寺の和尚を訪ねて大きい仏像を寺に、小さい仏像を姉妹で1体ずつ家の本尊とすることにしました。十五夜ばあさんは十五夜の晩なくなったそうです。

### 秩父堂（観光協会から車で5分、遊歩道入口から徒歩45分）

標高282mの山頂に観音堂と秩父三十四ヶ所の札所を一か所に集めた秩父山は古くは横山と呼ばれたという。この秩父札所は、死者があり葬礼を終わると七七忌までの間に親戚知己は秩父山に登り三十四札所にお参りをして死者を悼む信仰が近年まで行われていました。

### 庵屋堂（観光協会から徒歩10分、遊歩道入口から徒歩20分）

開祖は石野田嘉工門の祖と言われ、堂の中に阿弥陀如来像を祀り、外の境内には正観音菩薩を中心に七観音を配し、コの字型に並べられた33の石像に、御本尊名と札所番号が刻字されている。また、一段高い位置に「坂東三十三ヶ所礼場」と刻まれた碑が建てられており、側面に安政五年九月と記されている。

### 水配り伝説と多幸湧水（多幸湧水…多幸湾バス停から徒歩3分）

その昔、伊豆諸島の中心である天上山、不入ガ沢にて島々の神々が集まり生命の源である「水」をどのように分配をするか話し合われたとの伝説が残っている。神津島は湧水に恵まれた島であるがその中でも多幸湧水は飲み口もやわらかく東京名湧水57選に数えられている。

### 観音堂（観光協会から車で30分、遊歩道入口から徒歩80分）

観音浦の海岸は800メートルほどの長さがありひっそりとした森に囲まれた静かな佇まいは聖域にふさわしい環境である。祭壇には御本尊の観世音菩薩が収められています。お堂の隣にはコの字型に石仏を並べてあり西国三十三札所の観音像をお祀りしている。